

音楽アーティスト科 ヴォーカルパフォーマンスコース 受講科目一覧 2年次

文化・教養専門課程（文化・教養分野）

1 単位時間

4 5 分

授業科目		年間授業 時間数	週授業 時間数	単位数
実習	分野別実習Ⅱ（前期）	34	2	1
実習	分野別実習Ⅱ（後期）	34	2	1
講義	業界知識Ⅱ	72	2	4
演習	共同演習Ⅱ	68	2	4
講義	音楽理論/調音Ⅱ	68	2	4
講義	アイソレーションⅡ	68	2	4
実習	歌唱/演奏基礎技術Ⅱ	68	2	2
実習	歌唱/演奏応用技術Ⅱ	68	2	2
実習	歌唱/演奏実技Ⅱ	68	2	2
実習	サウンドアナライズⅡ	68	2	2
演習	アンサンブル基礎Ⅱ	68	2	4
演習	アンサンブル応用Ⅱ	68	2	4
実習	作品制作基礎Ⅱ	68	2	2
実習	作品制作応用Ⅱ	68	2	2
合計		888	26	38

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	オンデマンドⅡ		授業形態 / 必選	講義	必修
	学則別表上表記	業界知識Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	36回(72単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ヴォーカル/シンガーソングライター/ギター/ベース/ドラム/サウンドクリエイター/ヴォーカルパフォーマンス/ダンスパフォーマンス/アーティスト総合				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当	<input type="checkbox"/>	非該当 <input checked="" type="checkbox"/>
担当講師 実務経歴					
授業概要	著作物の定義や著作権の権利及び著作隣接権について学び、それぞれの権利がどのような働きをしているのかを理解することが出来る。				
到達目標	音楽ビジネスの仕組みを知り、著作権にまつわる企業や団体がどのような役割を果たしているかを理解し、印税の仕組みや金額、著作権保護の条件や重要性についての理解を深める。				

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	形のない知的財産について理解し、著作権を守る意義について理解する。 著作物の定義と著作物の種類を理解する 著作権の権利の内容を理解する 著作権の権利の支分権と内容を結びつけることが出来る ①
【前期】 4～7回目	著作権の権利の支分権と内容を結びつけることが出来る ② 著作隣接権の内容について理解する ① 著作隣接権の内容について理解する ② 音源の権利 原盤について理解する
【前期】 8～10回目	DVD視聴NHKスペシャル「知は誰のものか」インターネットにおける違法コピーと著作権の保護期間延長について 前回のDVDからの問題点のまとめ 著作権保護期間延長に関する作文 【作文提出】 音楽業界の基本構造① プロダクションの役割を理解する
【前期】 11～13回目	音楽業界の基本構造② レコード会社の役割を理解する 音楽業界の基本構造③ 音楽出版社の役割を理解する～著作権ビジネスの流れを理解する 音楽ビジネスの現状
【前期】 14～17回目	テスト対策 ここまでのポイントをまとめたプリント 前期テスト実施 前期テストの内容を振り返り、修正ポイントを確認し改善することができる。
【後期】 18～20回目	JASRACの役割について理解を深める 著作権管理事業の現状 JASRACの使用料徴収の是非について自分の意見をまとめ 【作文作成 & 提出】
【後期】 21～24回目	印税の仕組みがどのようにになっているか理解出来るようになる レーベルの収益について理解することができる。 リカーブラインについて理解することができる。 CD以外の著作権使用料① インタラクティブ配信
【後期】 25～27回目	CD以外の著作権使用料② 動画投稿サイト CD以外の著作権使用料③ 放送～カラオケ CD以外の著作権使用料④ 演奏/上演とレンタル 私的録音補償金
【後期】 28～30回目	著作物の利用に関して 著作物の利用手続きと所有権と著作権の違いを理解する 著作物の自由利用の範囲について理解を深める 著作権侵害の行為と罰則について理解を深める
【後期】 31～34回目	テスト対策 ここまでのポイントをまとめたプリント 後期テスト実施 後期テストの内容を振り返り、修正ポイントを確認し改善することができる。
評価方法	前期試験、後期試験ともに筆記試験を実施し、S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価を行う。
学生へのメッセージ	前期では著作権の基本的な知識と音楽業界の中心となるプロダクション、レコード会社、音楽出版社の役割について学びます。 後期では主にJASRACの役割と印税について学びます。 JASRACに関しては、インターネット上で不確かな情報が飛び交っているのが現状ですが、自身で正しい判断が出来るような知識を身につけてください。 仕事内容の伝わりにくい業界ですので、これをキッカケに興味を広げ、自身でも積極的に調べるようにしていきましょう。
備考	HRも兼ねるため、日常の連絡業務や学校行事のプリント配布、アンケート調査、就職ゼミなどが実施される週もある。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ヴォーカルグループⅡ		授業形態 / 必選	演習	必修
	学則別表上表記	共同演習Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ヴォーカルパフォーマンス/ダンスパフォーマンス				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	Rickie-G のバックコーラスをつとめる他、シンガーとしてライブサポート、レコーディング、社歌やサウンドロゴ等の歌入れも行う。 ミッキー吉野(ゴダイゴ)、中西圭三、HY、島袋優(BEGIN)など大物アーティストとの共演も多数。				
授業概要					
多くの難易度の高い楽曲(GOSPEL・ミュージカル楽曲・POPS等)を通し、心の解放・ハーモニーへの理解、発声や歌唱法を学ぶ。時にはリードボーカルのオーディションを行い、生徒同士で競争することによる技術向上を目的とする。					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・グループ全体としての表現力、ハーモニーへの理解を深める。 ・ハーモニーへの理解を深め、楽曲のコード感、スケール、各パートの音使いなどを自身の耳で取れるようになる。 ・2年次はリードをとれるようになる。 					

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	課題曲1(コンテンポラリーゴスペル1)
【前期】 4～7回目	課題曲2(ミュージカルソング1)
【前期】 8～10回目	表現・パフォーマンス(課題曲1 & 2をライブシミュレートパフォーマンス)
【前期】 11～13回目	課題曲3(スタンダードゴスペル)
【前期】 14～17回目	課題曲4(コンテンポラリーゴスペル2) ■前期試験:課題曲の歌唱により「歌唱時の音色(声色)の使い方 / 歌詞への理解度 / ハーモニー / 総合表現力」の到達度を確認する。
【後期】 18～20回目	表現・パフォーマンス(課題曲1～4をライブシミュレートパフォーマンス)
【後期】 21～24回目	課題曲5(クリスマスソング)
【後期】 25～27回目	課題曲6(ミュージカルソング2)
【後期】 28～30回目	表現・パフォーマンス(課題曲1～6をライブシミュレートパフォーマンス)
【後期】 31～34回目	表現・パフォーマンス(課題曲1～6をライブシミュレートパフォーマンス) ■後期試験:課題曲の歌唱により「歌唱時の音色(声色)の使い方 / 歌詞への理解度 / ハーモニー / 総合表現力」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「歌唱時の音色(声色)の使い方 / 歌詞への理解度 / ハーモニー / 総合表現力」の4項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	大人数で歌ってみることによる楽しさ、達成感をまずは知ること。そこから全体のリズム、グループ、ハーモニーなど聴きながらその中で自身の声や表現をどのようにパフォーマンスに繋げていくのかを感じていきましょう。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	サイトシンギング&ピッチワークアウトⅡ		授業形態 / 必選	講義	選択
	学則別表上表記	音楽理論/調音Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ヴォーカルパフォーマンス				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	KAN、浜崎あゆみ、林原めぐみなど様々なアーティストのバックコーラスやレコーディング制作に携わる。 23歳の時にアニメセイバーマリオネットact5エンディング「風の詩を聴きながら」でメジャーリリース。 その後ヴォイストレーナーとして多数アーティスト(元生徒はDAIGO、太田在etc)の指導を行う。				
授業概要	歌のメロディを支えているコードや他の楽器の知識を深める。 ダイアトニックコード聞き取り、作詞、作曲をする。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・曲の構成を理解してメロディとコードの関係を深く知る。 ・メロディ及びハーモニーの読譜ができるようにする。 				

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	123456メロディ発声、カットタイム、ビブラート、マイナースケール、リズムトレーニング。
【前期】 4～7回目	7度インターバル、ハーモニー歌唱、オリジナルメロ歌詞作成。
【前期】 8～10回目	3連と8分の紹介、16リズムトレーニング、ボリュームと共鳴、メジャーコードについて。
【前期】 11～13回目	マイナーメロディー歌唱、読譜トレーニング、マイナーインターバル。
【前期】 14～17回目	3声ハモリ、コード進行作成、オクターブメロディ発声、6/8 ■前期試験:筆記試験により「コードやインターバル理論の理解力 / イヤトレカ / 読譜力」の到達度を確認する。
【後期】 18～20回目	声の響かせ方、マイナーコードの紹介、メジャーとマイナーの練習、ハモリ歌唱。
【後期】 21～24回目	完全オリジナル作成、オクターブメロディー、3連と4分について。
【後期】 25～27回目	マイクテクニック、Dim、Augのコードの紹介、インターバル、オリジナル作成。
【後期】 28～30回目	メロディー読譜練習、リズムチェック、サイエンステスト、ピッチチェック。
【後期】 31～34回目	インターバルクイズ、ハモリ練習、オリジナルレコーディング。 ■後期試験:筆記試験により「コードやインターバル理論の理解力 / イヤトレカ / 読譜力」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「コードやインターバル理論の理解力 / イヤトレカ / 読譜力」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	コードとメロディーを理解してオリジナル曲を作り歌えるようにする授業です。ハモリも聴きとれる力を身につけます。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ダンスベーシック&アイソレーションⅡ		授業形態 / 必選	講義	選択
	学則別表上表記	アイソレーションⅡ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ヴォーカルパフォーマンス/ダンスパフォーマンス				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	ダンスチーム Mool(モール)に所属。福岡を拠点に AKB48、KAZU(BROWN SUGAR)、比花知春、Alice、fumika 等のバックアップダンサーをつとめる。2005年よりダンスをはじめ、2014年よりインストラクター、今日に至る。				
授業概要					
ストリートダンスに必須な基礎的なムーブや技術、アイソレーションと呼ばれる体の各部位を個別に動かす方法を、ダンスミュージックに合わせてコントロールする方法を習得する。					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・ストリートダンスの基本であるアップとダウンに加え、様々なリズムを理解する。 ・様々なジャンルのダンスのベーシックな動きを理解する。 ・ベーシックな動きを音楽に合わせる方法を理解する。 ・楽曲に合わせて、アイソレーションや基本的な動きをコントロールすることができる。 ・様々なジャンルのベーシックな動きを使い分けすることができる。 					

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	ロジャーラビット、ハッピーフィートなどのムーブのレクチャー、さらにそれを用いたダンスルーティーン(振付)の練習
【前期】 4～7回目	ジャーク、チャールストンなどのムーブのレクチャー、さらにそれを用いたダンスルーティーン(振付)の練習
【前期】 8～10回目	パーティマシーン、スポンジボムなどのムーブのレクチャー、さらにそれらを用いたダンスルーティーン(振付)の練習
【前期】 11～13回目	様々なダンスベーシック、アイソレーションを含めた振付の練習
【前期】 14～17回目	様々なダンスベーシック、アイソレーションを含めた振付の練習、発表、前期の振り返り ■前期試験:ダンスにおける「リズム感 / スキル / シルエット」の到達度を確認する。
【後期】 18～20回目	モネストーリー、クロスステップ(HOUSE)などのムーブのレクチャー、さらにそれを用いたダンスルーティーン(振付)の練習
【後期】 21～24回目	ツーステップ(HOUSE)、ピーターポール(HOUSE)などのムーブのレクチャー、さらにそれらを用いたダンスルーティーン(振付)の練習
【後期】 25～27回目	HOUSEの細かいテクニックやステップのレクチャー、さらにそれらを用いたダンスルーティーン(振付)の練習
【後期】 28～30回目	様々なダンスベーシック、アイソレーションを含めた振付の練習
【後期】 31～34回目	様々なダンスベーシック、アイソレーションを含めた振付の練習、発表、後期の振り返り ■後期試験:ダンスにおける「リズム感 / スキル / シルエット」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「リズム感 / スキル / シルエット」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	1年次に学んだ基礎的なテクニック、アイソレーションをさらに熟練させ、音楽に合わせることでより高度なダンススキルを習得することができます。授業で学んだ内容を復習し反復練習することで、自身の更なるスキルの向上につながります。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ヴォイストレーニングⅡ		授業形態 / 必選	実習	選択
	学則別表上表記	歌唱/演奏基礎技術Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ヴォーカルパフォーマンス/ダンスパフォーマンス				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	YAMAHAポピュラーミュージックコンテストボーカル部門優勝経験を持ち、1999年よりアーティスト活動開始。 歌手としてデビューし4枚のCDをリリースしている。 黒人霊歌、ソウル、R&B、ジャズなど、アメリカンブラックミュージック中心に現在もライブ活動をしている。 様々なジャンルの音楽に携わってきたヴォーカリストとしての活動経験を活かした講義内容となっている。				
授業概要	歌唱の基礎、呼吸や姿勢、発声の際に使う体の使い方を学び、ピッチ、音価の正確性を高める。また、手拍子や体を使いリズム感をしっかりと養い、歌唱の際に表現に集中できるようにする。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・呼吸法の基礎を習得。 ・発声の際の姿勢を習得。 ・骨盤底筋、インナーマッスルを強化し、発声の安定性を獲得する。 ・力を入れずに発声できるようになり、自然な姿勢でリズムに乗れるようになる。 ・歌の中で使える滑舌を習得し、言葉が伝わる歌唱ができるようになる。 				

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	各々の発声の状態、問題を確認。トレーニングメニュー説明&実践。ロングトーンやスケールを使い基本的な発声練習。
【前期】 4～7回目	呼吸法トレーニング。骨盤底筋を使った発声練習。表情筋トレーニング。チェストボイスを中心に、トレーニング。
【前期】 8～10回目	呼吸法トレーニング。骨盤底筋を使った発声練習。ヘッドボイスを中心にトレーニング。
【前期】 11～13回目	呼吸法トレーニング。骨盤底筋を使った発声練習。声区融合トレーニング
【前期】 14～17回目	前期テスト対策。前期テスト：発声に関する用語、仕組み、発声、リズムの到達度の確認。
【後期】 18～20回目	吸法トレーニング。骨盤底筋を使った発声練習。子音トレーニング。 メロノームを使い任意の曲をアカペラで歌唱。調声、リズムトレーニング。
【後期】 21～24回目	吸法トレーニング。骨盤底筋を使った発声練習。子音トレーニング。表情筋トレーニング。
【後期】 25～27回目	これまでの発声練習を応用し、総合発声トレーニング。アカペラ歌唱。
【後期】 28～30回目	これまでの発声練習を応用し、総合発声トレーニング。アカペラ歌唱。
【後期】 31～34回目	通年のまとめ。前期テスト：発声に関する用語、仕組み、発声、リズムの到達度の確認。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「発声に関する用語、仕組み/発声/リズム」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	発声は筋トレです。フィジカルをしっかりと鍛え、自分の内なる声を引き出し、ステージで何の不自由もなく歌えるようになりましょう。う
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ヒップホップⅡ		授業形態 / 必選	実習	選択
	学則別表上表記	歌唱/演奏応用技術Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ヴォーカルパフォーマンス/ダンスパフォーマンス				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □				
担当講師 実務経歴	小学生からダンスを始め、幼い頃からアーティストのライブのサポートダンサーとして全国を回る、MV出演など、様々な経験をしている。 EXPG Labとして全国から選出されたメンバーの1人として活動経験もあり、アーティストとしての在り方、知識なども学んでいる。 現在は海外ダンサーのWSなど積極的に参加し、ダンサーとして実績を残している。				
授業概要	HipHopと言っても様々なカテゴリーがあるので、時系列で習得する。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> あらゆるHipHop danceを理解し、振付をマスターする。 文化であるHipHopをダンスの分野から理解する。 				

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	HipHop創世記のダンス~Breaking
【前期】 4～7回目	New Jack Swing 基礎
【前期】 8～10回目	New Jack Swing 振付
【前期】 11～13回目	Old school HipHop 基礎
【前期】 14～17回目	Old school HipHop 振付 ■前期試験:ダンスの実技により「リズム感/完成度/理解度」の到達度を確認する。
【後期】 18～20回目	New school HipHop 基礎
【後期】 21～24回目	New school HipHop 振付
【後期】 25～27回目	Millennium HipHop 基礎
【後期】 28～30回目	Millennium HipHop 振付
【後期】 31～34回目	振付まとめ ■後期試験:ダンスの実技により「リズム感/完成度/理解度」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「リズム感/完成度/理解度」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	今一番注目を集めてるダンスです。その歴史をも網羅して学んでいきましょう。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ヴォーカルパフォーマンスⅡ		授業形態 / 必選	実習	選択
	学則別表上表記	歌唱/演奏実技Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ヴォーカルパフォーマンス				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □				
担当講師 実務経歴	YAMAHAポピュラーミュージックコンテストボーカル部門優勝経験を持ち、1999年よりアーティスト活動開始。 歌手としてデビューし4枚のCDをリリースしている。 黒人霊歌、ソウル、R&B、ジャズなど、アメリカンブラックミュージック中心に現在もライブ活動をしている。 様々なジャンルの音楽に携わってきたヴォーカリストとしての活動経験を活かした講義内容となっている。				
授業概要					
課題曲・選択曲(ジャンル分け)を使って表現とは何かを学ぶ。曲が生まれた時代背景・歴史を調べる。作者の人生を調べつつ曲の奥にある世界を読み取る。曲を使って自分の世界を投影させる。自分のイメージを具現化する。楽曲アレンジの具体的アイデアを練りだし、バンドメンバーやアレンジャーとコミュニケーションをとる。					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・楽曲をそのまま歌うのではなく、理解を深め、本人にしか歌えない曲に仕上げる。 ・明確なイメージを持ち、具現化する力をつける。 ・選曲、理解、アレンジ、舞台演出、パフォーマンス、すべてをゼロから作り上げることができる。 ・客観的視点を持ち、エンターテインメント性をみずえてパフォーマンスすることができる。 					

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	課題曲① 歴史・時代背景・自分の世界観との共有
【前期】 4～7回目	課題曲① イメージの具現化。アレンジ、メンバー人選、歌唱演習
【前期】 8～10回目	選択曲① 歴史・時代背景・自分の世界観との共有
【前期】 11～13回目	選択曲② イメージの具現化。アレンジ、メンバー人選、歌唱演習
【前期】 14～17回目	前期まとめ/面談 ■前期試験:課題曲の歌唱により「曲の理解 / 演出力 / テクニック・クオリティー/ コミュニケーション力」の到達度を確認する。
【後期】 18～20回目	自己制作①
【後期】 21～24回目	自己制作②
【後期】 25～27回目	自己制作③
【後期】 28～30回目	自己制作④
【後期】 31～34回目	最終まとめ/ステージ発表 ■後期試験:課題曲の歌唱により「曲の理解 / 演出力 / テクニック・クオリティー/ コミュニケーション力」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「曲の理解 / 演出力 / テクニック・クオリティー/ コミュニケーション力」の4項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	「ただ歌う」「その通り歌う」は、卒業しましょう。曲の奥にある世界を深く紐解くと、その曲の魅力を発見できて自分の表現力も同時に上がります。ただ単に上手なヴォーカルではなく、心の深いところに響き何度でも聞きたくなるヴォーカリストになりましょう。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	歌唱実習Ⅱ		授業形態 / 必選	実習	選択
	学則別表上表記	サウンドアナライズⅡ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ヴォーカルパフォーマンス/ダンスパフォーマンス				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	Rickie-G のバックコーラスをつとめる他、シンガーとしてライブサポート、レコーディング、社歌やサウンドロゴ等の歌入れも行う。 ミッキー吉野(ゴダイゴ)、中西圭三、HY、島袋優(BEGIN)など大物アーティストとの共演も多数。				
授業概要					
自ら選んだ楽曲を歌いこみながらテクニックをきめ細やかに、また感情表現をより深めながらシンガーとしての自らをワークショップスタイルの中で確立していきます。生徒それぞれにまだ獲得できていない表現方法を課題曲として与え、獲得に導く。					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> 与えられた課題曲に対し、生徒自身がその楽曲に合う表現方法を考慮しパフォーマンスすることができるようになる。 既存曲のカバーをする際も、オリジナル曲を自身でパフォーマンスする際も、オーディエンスに届く歌唱、音色(声色)選びができるような思考を定着させる。 					

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	課題曲1(日本語の楽曲で自由選択)
【前期】 4～7回目	課題曲2(日本語の楽曲、それぞれに必要なテクニックのある楽曲を講師より)
【前期】 8～10回目	課題曲3(英語の楽曲で自由選択)
【前期】 11～13回目	課題曲4(英語の楽曲、それぞれに必要なテクニックのある楽曲を講師より)
【前期】 14～17回目	表現・パフォーマンス(課題曲1～4の中で1曲をライブシミュレートパフォーマンス) ■前期試験:課題曲の歌唱により「歌唱時の音色(声色)の使い方 / 歌詞への理解度 / 総合表現力」の到達度を確認する。
【後期】 18～20回目	レパートリー1(自身の財産となるようなレパートリー楽曲の追求)
【後期】 21～24回目	レパートリー2(自身の財産となるようなレパートリー楽曲の追求)
【後期】 25～27回目	レパートリー3(自身の財産となるようなレパートリー楽曲の追求)
【後期】 28～30回目	レパートリー4(自身の財産となるようなレパートリー楽曲の追求)
【後期】 31～34回目	模擬ライブパフォーマンス(課題曲1～4&レパートリー1～4の中から数曲を選択し一定時間、MCも含め20分ほどのライブパフォーマンスを構築する) ■後期試験:課題曲の歌唱により「歌唱時の音色(声色)の使い方 / 歌詞への理解度 / 総合表現力」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「歌唱時の音色(声色)の使い方 / 歌詞への理解度 / 総合表現力」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	表現の幅、歌唱における様々なテクニックなど、さらにより高度なものへと押し上げ、自分自身がどのように表現したいのかをオーディエンスに確実に伝えることができるように磨き上げていきましょう。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ライブスタイル実習Ⅱ		授業形態 / 必選	演習	選択
	学則別表上表記	アンサンブル基礎Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ヴォーカルパフォーマンス/ダンスパフォーマンス				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	小学生からダンスを始め、幼い頃からアーティストのライブのサポートダンサーとして全国を回る、MV出演など、様々な経験をしている。 EXPG Labとして全国から選出されたメンバーの1人として活動経験もあり、アーティストとしての在り方、知識なども学んでいる。 現在は海外ダンサーのWSなど積極的に参加し、ダンサーとして実績を残している。				
授業概要	楽曲毎による振付、構成を覚えリズムやニュアンス雰囲気等、幅広い振付ジャンルや魅せ方の習得。楽曲のイントロ、間奏などを活かしソロダンスやユニゾンで魅せるパフォーマンス、ステージングを習得。各シーンにあった意識、ダンス、パフォーマンスを課題により習得。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・楽曲な考察、雰囲気、ニュアンスを早く理解する。・振付を早く理解する。・フォーメーション構成を早く理解する。 ・楽曲により雰囲気やニュアンスを変えて表現する事ができる。・アーティストダンサーを意識したステージングができる。 ・アーティストバックアップを意識したパフォーマンスができる。・オーディエンスを意識したパフォーマンスができる。 ・短い期間でテーマ、振付、構成を覚えられる。 				

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	【課題曲1】楽曲の考察とリズムの把握。課題テーマに沿った振付の練習。フォーメーション構成の理解と時間までの踊り込み練習。ヴォーカルの人数や構成パターン、ローテーションの数だけ成果をホールor教室で披露。ビデオチェックとフィードバック。【課題曲2】楽曲の考察とリズムの把握。
【前期】 4～7回目	【課題曲2】課題テーマに沿った振付の練習。フォーメーション構成の理解と時間までの踊り込み練習。ヴォーカルの人数や構成パターン、ローテーションの数だけ成果をホールor教室で披露。ビデオチェックとフィードバック。【課題曲3】楽曲の考察とリズムの把握。課題テーマに沿った振付の練習。
【前期】 8～10回目	【課題曲3】フォーメーション構成の理解と時間までの踊り込み練習。ヴォーカルの人数や構成パターン、ローテーションの数だけ成果をホールor教室で披露。ビデオチェックとフィードバック。◇LIVE授業へ向けての課題曲1、課題曲2、課題曲3のニュアンス、振付構成のクオリティ向上と修正、アドバイス。
【前期】 11～13回目	【実践形式LIVE授業】仕上げ 課題曲1.2.3をオーディエンスが実際にいるステージでのLIVE授業にて成果発表。テストレビュー。◇前期テストポイントや課題の成果を発表。
【前期】 14～17回目	【前期まとめ】LIVE授業と実技テストで披露した課題曲1.2.3の成果を踏まえてフィードバックとアドバイス。前期まとめと後期に向けての個々の修正ポイントや技術アドバイス。 ■前期試験:ダンスの実技により「振付 / ステージング / リズム / 質感 / 表現力」の到達度を確認する。
【後期】 18～20回目	【課題曲4】楽曲の考察とリズムの把握。課題テーマに沿った振付の練習。フォーメーション構成の理解と時間までの踊り込み練習。ヴォーカルの人数や構成パターン、ローテーションの数だけ成果をホールor教室で披露。ビデオチェックとフィードバック。【課題曲5】楽曲の考察とリズムの把握。
【後期】 21～24回目	【課題曲5】課題テーマに沿った振付の練習。フォーメーション構成の理解と時間までの踊り込み練習。ヴォーカルの人数や構成パターン、ローテーションの数だけ成果をホールor教室で披露。ビデオチェックとフィードバック。◇LIVEイベントに向けての課題曲1.2.3.4.5のクオリティ向上と修正。LIVEに向けたアドバイス。
【後期】 25～27回目	【課題曲6】楽曲の考察とリズムの把握。課題テーマに沿った振付の練習。フォーメーション構成の理解と時間までの踊り込み練習。ヴォーカルの人数や構成パターン、ローテーションの数だけ成果をホールor教室で披露。ビデオチェックとフィードバック。
【後期】 28～30回目	後期テストレビューと最後の成果発表に向けての練習。◇後期テストポイントや課題の成果を発表。ポイントや課題、実技テストに対してのフィードバックとアドバイス。課題曲4.5.6の最後の成果発表に向けて練習、復習、披露。フィードバックとアドバイス。
【後期】 31～34回目	【年間まとめ】これまでの内容と成果、個々の成長を含めまとめと、フィードバック、アドバイス。LIVEに向け仕上げ。【実践形式LIVE授業】課題曲1.2.3.4.5.6の中から楽曲パフォーマンスを、ラストLIVEのステージにてこれまでの成果発表。 ■後期試験:ダンスの実技により「振付 / ステージング / リズム / 質感 / 表現力」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「振付 / ステージング / リズム / 質感 / 表現力」の5項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	バックダンサーやダンスヴォーカルグループとしてのステージングをより学び、2年次はより早い時間で振付、構成を理解して沢山表現しましょう。楽曲とテーマにより幅広い魅せ方と振付になるので少しでも吸収して色々なシーンで活かせるように落とし込んで欲しいです。人に魅せるステージングを意識して自分の夢の為に楽しむ事を忘れず一杯頑張りましょう。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ライブパフォーマンス実習Ⅱ		授業形態 / 必選	演習	選択
	学則別表上表記	アンサンブル応用Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ヴォーカルパフォーマンス/ダンスパフォーマンス				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	小学生からダンスを始め、幼い頃からアーティストのライブのサポートダンサーとして全国を回る、MV出演など、様々な経験をしている。 EXPG Labとして全国から選出されたメンバーの1人として活動経験もあり、アーティストとしての在り方、知識なども学んでいる。 現在は海外ダンサーのWSなど積極的に参加し、ダンサーとして実績を残している。				
授業概要	ライブ実習Ⅱ①に基づき、楽曲毎による振付、構成を覚えリズムやニュアンス雰囲気等、幅広い振付ジャンルや魅せ方の習得。楽曲のイントロ、間奏などを活かしソロダンスやユニゾンで魅せるパフォーマンス、ステージングを習得。各シーンにあった意識、ダンス、パフォーマンスを課題により習得。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・楽曲な考察、雰囲気、ニュアンスを早く理解する。・振付を早く理解する。・フォーメーション構成を早く理解する。 ・楽曲により雰囲気やニュアンスを変えて表現することができる。・アーティストダンサーを意識したステージングができる。 ・アーティストバックアップを意識したパフォーマンスができる。・オーディエンスを意識したパフォーマンスができる。 ・応用として、実際のステージを想定してのダンスをできるようにする。 				

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	【課題曲1】楽曲の考察とリズムの把握。課題テーマに沿った振付の練習。フォーメーション構成の理解と時間までの踊り込み練習。ヴォーカルの人数や構成パターン、ローテーションの数だけ成果をホールor教室で披露。ビデオチェックとフィードバック。【課題曲2】楽曲の考察とリズムの把握。ステージング。
【前期】 4～7回目	【課題曲2】課題テーマに沿った振付の練習。フォーメーション構成の理解と時間までの踊り込み練習。ヴォーカルの人数や構成パターン、ローテーションの数だけ成果をホールor教室で披露。ビデオチェックとフィードバック。【課題曲3】楽曲の考察とリズムの把握。課題テーマに沿った振付の練習。
【前期】 8～10回目	【課題曲3】フォーメーション構成の理解と時間までの踊り込み練習。ヴォーカルの人数や構成パターン、ローテーションの数だけ成果をホールor教室で披露。ビデオチェックとフィードバック。◇LIVE授業へ向けての課題曲1、課題曲2、課題曲3のニュアンス、振付構成のクオリティ向上と修正、アドバイス。
【前期】 11～13回目	【実践形式LIVE授業】仕上げライブ実習Ⅱ①に基づき、課題曲1.2.3をオーディエンスが実際にいるステージでのLIVE授業にて成果発表。テストレビュー。◇前期テストポイントや課題の成果を発表。
【前期】 14～17回目	【前期まとめ】LIVE授業と実技テストで披露した課題曲1.2.3の成果を踏まえてフィードバックとアドバイス。前期まとめと後期に向けての個々の修正ポイントや技術アドバイス。 ■前期試験:応用としてのダンスの実技により「振付 / ステージング / リズム / 質感 / 表現力」の到達度を確認する。
【後期】 18～20回目	【課題曲4】楽曲の考察とリズムの把握。課題テーマに沿った振付の練習。フォーメーション構成の理解と時間までの踊り込み練習。ヴォーカルの人数や構成パターン、ローテーションの数だけ成果をホールor教室で披露。ビデオチェックとフィードバック。【課題曲5】楽曲の考察とリズムの把握。ステージング。■
【後期】 21～24回目	【課題曲5】課題テーマに沿った振付の練習。フォーメーション構成の理解と時間までの踊り込み練習。ヴォーカルの人数や構成パターン、ローテーションの数だけ成果をホールor教室で披露。ビデオチェックとフィードバック。◇LIVEイベントに向けての課題曲1.2.3.4.5のクオリティ向上と修正。LIVEに向けたアドバイス。
【後期】 25～27回目	【課題曲6】楽曲の考察とリズムの把握。課題テーマに沿った振付の練習。フォーメーション構成の理解と時間までの踊り込み練習。ヴォーカルの人数や構成パターン、ローテーションの数だけ成果をホールor教室で披露。ビデオチェックとフィードバック。
【後期】 28～30回目	後期テストレビューと最後の成果発表に向けての練習。◇後期テストポイントや課題の成果を発表。ポイントや課題、実技テストに対してのフィードバックとアドバイス。課題曲4.5.6の最後の成果発表に向けて練習、復習、披露。フィードバックとアドバイス。
【後期】 31～34回目	【年間まとめ】これまでの内容と成果、個々の成長を含めまとめ、フィードバック、アドバイス。LIVEに向け仕上げ。【実践形式LIVE授業】課題曲1.2.3.4.5.6の中から楽曲パフォーマンスを、ラストLIVEのステージにてこれまでの成果発表。 ■後期試験:応用としてのダンスの実技により「振付 / ステージング / リズム / 質感 / 表現力」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「振付 / ステージング / リズム / 質感 / 表現力」の5項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	バックダンサーやダンスヴォーカルグループとしてのステージングをより学び、2年次はより早い時間で振付、構成を理解して沢山表現しましょう。楽曲とテーマにより幅広い魅せ方と振付になるので少しでも吸収して色々なシーンで活かせるように落とし込んで欲しいです。応用として 人に魅せるステージングを意識して自分の夢の為に楽しむ事を忘れず精一杯頑張りましょう。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	オリジナルワークⅡ		授業形態 / 必選	実習	選択
	学則別表上表記	作品制作基礎Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ヴォーカルパフォーマンス/ダンスパフォーマンス				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	<ul style="list-style-type: none"> ・ミュージカル刀剣乱舞 ～結びの響、始まりの音～ 2018 アンサンブルダンサー出演 ・AKB48 41stシングル選抜総選挙、湘南乃風 風伝説 第二章 ～雑巾野郎 ポロポロー 番星 TOUR2015～演出、振付、出演 ・「倉木麻衣 / あしたセレンディビティ」ミュージックビデオ、「CHUCKY / YELLOW MONKEY」ミュージックビデオ出演 				
授業概要					
<p>基礎課程で積み上げてきた知識、技能の総体としてクリエイティブな応用実践で音楽やパフォーマンス作品を作り上げていきます。また、グループプロジェクトとして企画、打合せ、譜面制作、リハーサル、レコーディング、ステージ本番に至るスケジューリングを行い、構成員の考えや芸術観などお互いに接続しながらより良い制作の方法を考えることにも重点を置きます。</p>					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・エンターテインメントの基本構造の理解、表現学習、作品制作、ステージ発表などを習得のサイクルとし、徐々に表現レベルを上げていきます。 ・メンバー全員でひとつのプロジェクトを作ることを経験し、今後の活動に生かすことが出来るようにし、且つクオリティーの高い楽曲制作と演奏が出来るようにシミュレーションを重ねます。 ・自身のポテンシャルを高めて、将来的な可能性の幅を広げることが可能になります。 ・チームワーク、協調性を養います。 					

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	決められたメンバーと協力し合い、ひとつのプロジェクトを作り、ライブ演奏、レコーディングに向けた企画とスケジューリングを行う。構成員の発想を集約し方向性の確認も行う。
【前期】 4～7回目	イベントプロジェクトの企画案に従い、オリジナルの抽出、楽曲の選定、またアレンジの振り分けなど個々の特性と将来像に応じて構成員の役割を決定していく。
【前期】 8～10回目	オリジナルナンバーのコンセプトやアレンジを確認しあい、演奏や歌唱を行いながら修正点を抽出していきます。また活発な意見の発議でそれぞれの考えを確認する。
【前期】 11～13回目	楽曲演出や演奏の完成度を上げるためにグループとしての実力を指導すると同時に個々へ与えられた課題を確実にクリアし、プロジェクトに反映させていく。
【前期】 14～17回目	前期の授業で制作してきた作品の総仕上げ～ステージ発表またはレコーディングを行い形に残す。 ■前期試験: 作品の発表により「クオリティー/技術力/表現力/コミュニケーション力」の到達度を確認する。
【後期】 18～20回目	後期はより高度なプロジェクトコンセプトをグループごとに思考し、ライブ演奏、レコーディングに向けた企画とスケジューリングを行う。構成員の発想を集約し方向性の確認も行う。
【後期】 21～24回目	イベントプロジェクトの企画案に従い、オリジナルの抽出、楽曲の選定、またアレンジの振り分けなど個々の特性と将来像に応じて構成員の役割を決定していく。
【後期】 25～27回目	オリジナルナンバーのコンセプトやアレンジを確認しあい、演奏や歌唱を行いながら修正点を抽出していきます。また活発な意見の発議でそれぞれの考えを確認する。
【後期】 28～30回目	楽曲演出や演奏の完成度を上げるためにグループとしての実力を指導すると同時に個々へ与えられた課題を確実にクリアし、プロジェクトに反映させていく。
【後期】 31～34回目	後期の授業で制作した作品の総仕上げ～ステージ発表またはレコーディングを行い形に残す。 ■後期試験: 作品の発表により「クオリティー/技術力/表現力/コミュニケーション力」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「クオリティー/技術力/表現力/コミュニケーション力」の4項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	一作品をグループで作り上げるプロセスの中で生じる葛藤や苦悩という生みの苦しみを経験しながら、作品完成時に感じる達成感や喜びを授業を通してシミュレーションしておきましょう。また基礎課程で培ったパーツを組み合わせる応用課程のクリエイティビティも存分に発揮してください。
備考	鑑賞DVD「ウェストサイドストーリー」、「GATS」、「コーラスライン」等

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	スタジオワークⅡ		授業形態 / 必選	実習	選択
	学則別表上表記	作品制作応用Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ヴォーカルパフォーマンス/ダンスパフォーマンス				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	<ul style="list-style-type: none"> ・ミュージカル刀剣乱舞～結びの響、始まりの音～ 2018 アンサンブルダンサー出演 ・AKB48 41stシングル選抜総選挙、湘南乃風 風伝説 第二章～雑巾野郎 ポロポロー 番星 TOUR2015～演出、振付、出演 ・「倉木麻衣 / あしたセレンディピティ」ミュージックビデオ、「CHUCKY / YELLOW MONKEY」ミュージックビデオ出演 				
授業概要					
オリジナルワークⅡ同様、基礎課程で積み上げてきた知識、技能の総体としてクリエイティブな応用実践で音楽やパフォーマンス作品を作り上げていきます。また、グループプロジェクトとして企画、打合せ、譜面制作、リハーサル、レコーディング、ステージ本番に至るスケジューリングを行い、構成員の考えや芸術観などお互いに接続しながらより良い制作の方法を考えることにも重点を置きます。					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・オリジナルワークⅡでの内容を更に応用し制作していきます。 ・エンターテインメントの基本構造の理解、表現学習、作品制作、ステージ発表などを習得のサイクルとし、徐々に表現レベルを上げていきます。 ・メンバー全員でひとつのプロジェクトを作ることを経験し、今後の活動に生かすことが出来るようにし、且つクオリティーの高い楽曲制作と演奏が出来るようにシミュレーションを重ねます。 ・自身のポテンシャルを高めて、将来的な可能性の幅を広げることが可能になります。 ・チームワーク、協調性を養います。 					

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	決められたメンバーと協力し合い、ひとつのプロジェクトを作り、ライブ演奏、レコーディングに向けた企画とスケジューリングを行う。構成員の発想を集約し方向性の確認も行う。
【前期】 4～7回目	イベントプロジェクトの企画案に従い、オリジナルの抽出、楽曲の選定、またアレンジの振り分けなど個々の特性と将来像に応じて構成員の役割を決定していく。
【前期】 8～10回目	オリジナルナンバーのコンセプトやアレンジを確認しあい、演奏や歌唱を行いながら修正点を抽出していきます。また活発な意見の発議でそれぞれの考えを確認する。
【前期】 11～13回目	楽曲演出や演奏の完成度を上げるためにグループとしての実力を指導すると同時に個々へ与えられた課題を確実にクリアし、プロジェクトに反映させていく。
【前期】 14～17回目	前期の授業で制作してきた作品の総仕上げ～ステージ発表またはレコーディングを行い形に残す。 ■前期試験：作品の発表により「クオリティー/技術力/表現力/コミュニケーション力」の到達度を確認する。
【後期】 18～20回目	後期はより高度なプロジェクトコンセプトをグループごとに思考し、ライブ演奏、レコーディングに向けた企画とスケジューリングを行う。構成員の発想を集約し方向性の確認も行う。
【後期】 21～24回目	イベントプロジェクトの企画案に従い、オリジナルの抽出、楽曲の選定、またアレンジの振り分けなど個々の特性と将来像に応じて構成員の役割を決定していく。
【後期】 25～27回目	オリジナルナンバーのコンセプトやアレンジを確認しあい、演奏や歌唱を行いながら修正点を抽出していきます。また活発な意見の発議でそれぞれの考えを確認する。
【後期】 28～30回目	楽曲演出や演奏の完成度を上げるためにグループとしての実力を指導すると同時に個々へ与えられた課題を確実にクリアし、プロジェクトに反映させていく。
【後期】 31～34回目	後期の授業で制作した作品の総仕上げ～ステージ発表またはレコーディングを行い形に残す。 ■後期試験：作品の発表により「クオリティー/技術力/表現力/コミュニケーション力」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「クオリティー/技術力/表現力/コミュニケーション力」の4項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	一作品をグループで作上げるプロセスの中で生じる葛藤や苦悩という生みの苦しみを体験しながら、作品完成時に感じる達成感や喜びを授業を通してシミュレーションしておきましょう。また基礎課程で培ったパーツを組み合わせる応用課程のクリエイティブティも存分に発揮してください。
備考	鑑賞DVD「ウェストサイドストーリー」、「CATS」、「コーラスライン」等